



3月度の御書

「上野尼御前御返事」 (烏竜遺竜の事)

法華經(御本尊)を持つ人は、百人は百人全部の人が、千人は千人全部の人が、一人も欠けずに仏になるのです。

意味

(御書新版1913ページ 御書全集1580ページ)

この経を持つ人は、百人は百人ながら、千人は千人ながら、一人もかけず仏になる

御文

「仏になる」とは、ありのままかがやくこと

やあ、みんな。ライオン博士のキング君だよ！ 今年度も残り一カ月。6年生のみんな、卒業おめでとう！ 1～5年生のみんなも進級にむけてドキドキだね。

みんなはどんな一年だったかな？ お友だちとの楽しかった思い出や、目標に向かってがんばった思い出、なかには思い出だけでくやしい、にがい思い出もあったかもしれないね。

一年をふりかえって、良かったことも、うまくいかなかったことも、ゼーんぶ、キミの“自分らしさ”をかがやかせる大事な経験になるんだ。そのことを、今回学ぶ御文で、日蓮大聖人がお約束してくださっているよ。

大聖人は、御本尊を信じて南無妙法蓮華經と唱える人は、百人いたら百人、また千人いたら千人が、一人も残らず、つまり絶対に「仏」になれると断言されているんだ。

「仏」となるというのは、自分とはちがう「特別な人」になるんじゃないよ。今の自分の、ありのままの個性や使命を大事にしながら、自分らしくかがやいていくことを言うんだ。

ボクもね、しの子のみんなには、一人ももれなく、全員、無限の可能性があるって確信しているよ。キミのあふれ出る個性も、なやみを乗りこえてきた経験も、かけがえのない自分をつくり、そして周囲の人を照らしていく希望になるんだよ。

時には、自分に自信が持てなくてなやむこともあるかもしれないね。その時こそ、素直な気持ちでお題目を唱えてみてほしい。自分の失敗や欠点だと思っていたことでさえ、自然と自分の強みに変わって、自分のことを心から大好きになっていけるんだ。

池田先生は語られているよ。

「人も木も、昨日と今日とで、くらべると、何も変わっていないように見える。でも、小さく弱々しかった木の苗だって、雨にも風にも負けず成長を続ければ、やがて見事な大樹に育ちます。同じように、みなさんも必ず大成成長していけます。いやなことや、がっかりすることがあっても、題目を唱えていく中で、全部、成長の栄養に変えていける。まっすぐに希望の天空を目指して伸びようとする中で、みながあおぎ見る立派な人、強い人、えらい人になれるよ」

お題目パワーで、自信満々に、新たなぶ台へ飛び立とう～！